AWFC：株式会社ニワトリノニワ									
	項目	項目詳細	基準	現況	自社現況詳細	1step	2step	3step	達成
①飢えと乾きからの自由	飼料	安全性	カビやサルモネラ等に汚染されていない、安全な飼料	○	飼料会社での検査を実地				
		栄養・嗜好性	栄養バランスの取れている　好んで食べる	○	毎日自家配合しており栄養バランスに関しては独自のソフトで計算している。また年に一度飼料会社にて成分分析を実施している	通年栽培できる牧草類の選定・栽培計画の作成	栽培試験実施	実地栽培開始	1年の内8か月以上の緑餌の確保
		給餌量制限の有無	空腹ストレスがかからない	○	ネズミの発生などの問題から一日の給餌量は設定しているが残さない最大量を計算している。				
	水	水道水・井戸水共通	都道府県別の衛生基準を満たしている	×	濾過水を使用	1年に一度の実施			雨水の利用設備の設置
		飲水量制限の有無	潤沢で自由に飲めること	○	流しっぱなし・制限なし				
②不快からの自由	飼育環境	飼育面積	1羽当たり550㎠以上（成鶏）である事	○	1羽当たり28,000㎠以上で飼育				
		飼育方法	エンリッジゲージ以上	○	放牧飼育				
		暑熱・寒冷対策	正常な体温を保てる温度	△	寒冷紗などの日よけ・スプリンクラー設置・扇風機設置	寒冷紗など日よけの設置	池の設置	日陰を作るような樹木を植	標高の高い場所への移転
		野生動物侵入防止策	動物侵入防止対策を行っている	△	一日一回以上の点検、及び番犬の設置				
		病原体侵入防止策	病原体侵入防止策を行っている	○	石灰・専用長靴履き替え				
		新鮮な空気の確保	常時新鮮な空気と交換できる	○	通年開放鶏舎				
	床	不快感を感じない床面	（ゲージ）傾斜8度以下 （平飼い）発酵床、乾燥土間による敷料管理	○	完全開放鶏舎の上、2か月に一度以上は糞出しを実施しているので常時乾燥。				
③痛み、傷、病気からの自由	病気・疾患	早期発見体制	鶏舎見回り・管理表の記載	○	給餌量・産卵率・死亡率等による変化で確				
		予防策	推奨ワクチネーションプログラムの実地	○	MD/POX/ND/IBを実施				
		疾患鶏の分別管理	疾患鶏の別飼育・適切な投薬	△	隔離				
	換羽	強制換羽・給餌休産	絶食による強制換羽の禁止	○	強換なし				
	ビークトリミング	断嘴の実施の有無	生後10日以内実地・極力避け	○	断嘴なし				
④正常行動発想の自由	遊具	止まり木	1羽当たり15㎝以上の大きさ	○	鶏舎内に配置・運動場の植木				
		砂浴び場	管理された衛生的な砂浴び場	○	広大な運動場を開放				
	照度	舎内の点灯	暗闇での飼育禁止	×					低照度の照明設置
⑤恐怖や悲しみからの自由	屠鳥・安楽死	疾病・傷害鶏の安楽死	炭酸ガス麻酔の使用	×	手締め				麻酔の導入
●その他	AW教育	飼育員へのAW教育	農場スタッフのAW理解	△	口頭での指導のみ				